

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	国語 1
科目基礎情報						
科目番号	101110		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	環境材料工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	前期:2 後期:4		
教科書/教材	新編 国語総合 言葉の世界へ (教育出版)					
担当教員	森長 新,石川 美千子,内田 泉					
到達目標						
1. 現代文の評論を読み、基本的な読解力を身につけ、考えを表現できる。 2. 現代文の文学作品の内容を理解し、感想を口頭あるいは文章で表現することができる。 3. 古文に触れ、感性を育み、語彙、文法の基本的な知識を身につける。 4. 漢文に触れ、感性を育み、訓読の基本的な知識を身につける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	内容を理解し、自分の考えを表現できる。		内容を理解できる。		内容を理解できない。	
評価項目2	内容を理解し、感想を表現できる。		内容を理解できる。		内容を理解できない。	
評価項目3	内容を読み取ることができる。		文法事項を理解している。		音読することができる。	
評価項目4	内容を読み取ることができる。		漢文訓読の方法を理解している。		漢文訓読の方法を理解している。	
学科の到達目標項目との関係						
コミュニケーション能力 (E)						
教育方法等						
概要	あらゆるジャンル、あらゆる時代の優れた文章を読み、基本的な読解力を身につけ、自分の考えや感想をもち、発表する力を養い、さらに書く力（表現力）をも養う。同時に古文と漢文、近現代の文学作品に触れることで豊かな感性を育み、自ら進んで文学作品に接する気持ちを高める。					
授業の進め方・方法	現代文、古文、漢文ともに事前に本文に目を通しておくこと。古文、漢文は中学校での学習を前提とするが、必要な事項は復習をするので、「国語2」につながるようしっかりと学習すること。国語はあらゆる学問の基礎となるものであることを自覚し、読解力や表現力の向上に努めて欲しい。また、古文や漢文に直接触れることができる力を修得する努力をしてもらいたい。夏休みには読書感想文を書くことを課すが、その基本は多くの本を読むことであることを意識して取り組んで欲しい。					
注意点	ノートは必ずとること。 平常点になる漢字テストや提出物はしっかりとやること。					
本科目の区分						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス			
		2週	評論（一）	「彼らがそれを学ばなければならない理由」	1	
		3週	評論（一）	「彼らがそれを学ばなければならない理由」	1	
		4週	評論（一）	「彼らがそれを学ばなければならない理由」	1	
		5週	小説（一）	「ほねとたね」	2	
		6週	小説（一）	「ほねとたね」	2	
		7週	小説（一）	「ほねとたね」	2	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	詩	「椰子の実」ほか	2	
		10週	詩	「椰子の実」ほか	2	
		11週	表現	「メールと手紙」	1	
		12週	評論（二）	「水の東西」	1	
		13週	評論（二）	「水の東西」	1	
		14週	評論（二）	「水の東西」	1	
		15週	評論（二）	「水の東西」	1	
		16週	期末試験			
後期	3rdQ	1週	小説（二）	「晴れた空の下で」 古文入門 古文を学ぶ	2,3	
		2週	小説（二）	「晴れた空の下で」 説話 「母猿と小猿」「児の知恵」	2,3	
		3週	小説（二）	「晴れた空の下で」 説話 「母猿と小猿」「児の知恵」	2,3	
		4週	表現	スピーチをしよう 漢文入門 漢文を学ぶ・訓読の基礎	1,4	
		5週	評論（三）	「テクノロジーと人間」 漢文入門 名言	1,4	
		6週	評論（三）	「テクノロジーと人間」 故事を楽しむ 「助長」「借虎威」「蛇足」	1,4	

	4thQ	7週	評論（三） 「テクノロジーと人間」 故事を楽しむ 「助長」「借虎威」「蛇足」	1,4
		8週	中間試験	
		9週	小説（三） 「羅生門」 随筆 「徒然草」「枕草子」	2,3
		10週	小説（三） 「羅生門」 随筆 「徒然草」「枕草子」	2,3
		11週	小説（三） 「羅生門」 史伝を読む 「管鮑之交」「晏子之御」「死諸葛走生仲達」	2,4
		12週	小説（三） 「羅生門」 史伝を読む 「管鮑之交」「晏子之御」「死諸葛走生仲達」	2,4
		13週	小説（三） 「羅生門」 物語（一） 「平家物語」	2,3
		14週	小説（三） 「羅生門」 物語（一） 「平家物語」	2,3
		15週	表現 ブック・トークをしよう 物語（一） 「平家物語」	1,3
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	3	
			代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	3	
			文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	3	
			文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べるができる。	3	
			鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	3	
			読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	3	
			現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	3	
			代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	3	
			古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。	3	
			代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。また、それらに親しもうとすることができる。	3	
			教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	3	
			情報の収集や発想・選択・構成の方法を理解し、論理構成や口頭によるものを含む表現方法を工夫して、科学技術等に関する自らの意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性を重視して情報を分析し、図表等を適切に活用・加工してコミュニケーションに生かすことができる。	3	
			他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価するとともに建設的に助言し、多角的な理解力、柔軟な発想・思考力の涵養に努めるとともに、自己の表現の向上に資することができる。	3	
			相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。	3	
			相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	3	
			相手を理解した上で、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ている。	3	
			集団において、集団の意見を聞き、自分の意見も述べ、目的のために合意形成ができる。	3	
			目的達成のために、考えられる提案の中からベターなものを選び合意形成の上で実現していくことができ、さらに、合意形成のための支援ができる。	3	
			ICTやICTツール、文書等を基礎的な情報収集や情報発信に活用できる。	3	

				ICTやICTツール、文書等を自らの専門分野において情報収集や情報発信に活用できる。	3	
				現状と目標を把握し、その乖離の中に課題を見つけ、課題の因果関係や優先度を理解し、そこから主要な原因を見出そうと努力し、解決行動の提案をしようとしている。	3	
				現状と目標を把握し、その乖離の中に課題を見つけ、課題の因果関係や優先度を理解し、発見した課題について主要な原因を見出し、論理的に解決策を立案し、具体的な実行策を絞り込むことができる。	3	
				事象の本質を要約・整理し、構造化（誰が見てもわかりやすく）できる。	3	
				複雑な事象の本質を整理し、構造化（誰が見てもわかりやすく）できる。結論の推定をするために、必要な条件を加え、要約・整理した内容から多様な観点を示し、自分の意見や手順を論理的に展開できる。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0